

思い出は胸の中に

少し長くなってきた夕方の影に
記憶までも冷やす季節の終わり

いつの間にか途切れた笑いの中で
思い出胸の中にそっとしまって

まぶしい夏 この日の光
心の奥のどこか 貼り付いたまま

風はどこか冷たく袖を撫でてゆく
蒸れた匂いなくなる季節の終わり

夕暮れの空どこかさみしい色をして
その下を歩いて刻む足音

その静けさ 胸の痛みも
心の奥のどこか 貼り付いたまま